

つくば市記者会 御中

発信日：令和3年（2021年）6月14日（月）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

令和3年度「つくばSociety5.0社会実装トライアル支援事業」で 地域課題の解決に資する先端技術の実証実験を募集します



つくば市では、平成29年度から「世界のあしたが見えるまち」というビジョンの下、革新的な技術やアイデアで社会課題を解決する、Society 5.0の社会実装に向けたトライアル（実証実験）を全国から公募し、優れた提案を全面的にサポートしてきました。

5年目を迎える今年度は、解決したい地域課題を提示した「課題設定部門」と「VR部門」の創設や、専門家からの助言機会を提供する新たな取り組みを加え、以下のとおり募集を開始します。

【募集期間】

令和3年6月14日（月）～7月16日（金）

【対象者】

教育機関（中学校～）、企業（個人事業主も可）、研究機関

※各機関において、責任者と構成員が明確な場合、部署・研究室単位の応募も可

【募集部門】

①課題設定部門（新設）

「“Society 5.0 × SDGs” 環境・脱炭素テクノロジーで持続可能な社会へ」をテーマに、市が提示する地域課題（別添参照）の解決に資するトライアルを募集します。

②フリー部門

提案者が独自にテーマを設定したトライアルを募集します。

③VR部門（新設）

VR技術を活用するトライアルを募集します。

【採択件数】

①課題設定部門、②フリー部門から5件

③VR部門から1件

（※うち1件はスタートアップ賞）

【支援内容】

- トライアルの実施に係る経費の支援（上限100万円）
- 実証実験会場の確保
- モニターのあっせん
- イベント等でのPRの場の提供
- 専門家からの助言（新設）

※詳細は、別添の募集チラシをご覧ください

Society 5.0

ソサイエティ

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくばが未来をつくる実験室になる。



農業×IoT インフラ×センシング 省エネ×人工知能 移動×VR など

[Society 5.0]の実現に向けた先端技術やアイデアのトライアル(実証実験)を全面的にサポートします。

募集テーマ

①課題設定部門

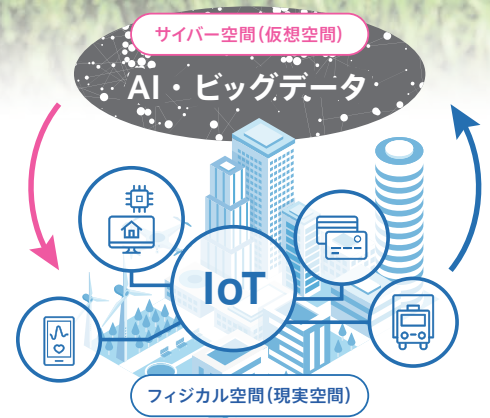
テーマ：「“Society 5.0 × SDGs”
環境・脱炭素テクノロジーで持続可能な社会へ」
課題：裏面を参照

②フリー部門

本市の課題解決につながる提案
※提案者が、独自にテーマを設定し、本市の課題解決に資することを明らかにすること

③VR部門

VR技術を活用する提案
※テーマは問わず



応募締切

2021. 7.16 Fri

※午後
5時15分
必着

試作品改良もOK

トライアル費用支援

100万円(上限)。安全対策費や施設使用料のほか、モニター謝礼や試作品改良費も支援。

モニターのおっせんも

トライアルのコーディネート

公共施設等市内の施設の確保、市民モニターのおっせん、専門家からの助言、イベントでのPR等を行います。

安心のサポート体制

継続フォロー

事業終了後は市場・市民向けニーズ調査支援、市サービスでの導入検討等。

応募資格

対象者：教育機関(中学校～)・企業(個人事業主含む)・研究機関
※各団体で責任者と構成員が明確な場合、部署・研究室単位の応募も可

提出書類

企画提案書及び企画提案サマリー

採択件数

①「課題設定部門」及び②「フリー部門」5件・③VR部門1件の計6件を予定
(内1件スタートアップ賞) ※スタートアップ賞対象は裏面参照

スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
6月14日～ 7月16日 公募	選考	トライアルの実施										継続フォロー	

お申込み
お問合せは
右記まで

詳細は WEB で

トライアル支援

検索

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/>



つくば市政策イノベーション部科学技術振興課
茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL 029-883-1111 (代表)

課題設定部門

以下のいずれかの課題の解決に資する実証実験を提案してください（複数可）

	SDGs 目標 (Goal)	課題	本市の問題意識
1	11 住み続けられるまちづくりを 	移動しやすい街をつくる (車に頼らずに暮らせる環境、 新たな移動手段・方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通への高い依存 ・運輸部門のCO₂排出量削減（本市における部門別排出量最多） ・交通混雑の緩和
2	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	インフラ維持管理を 効率化・高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、上下水道、建築物その他の公共インフラの一斉老朽化 ・不具合箇所の原因究明が困難（建造物は透視困難。限られた点検口で1つ1つ探査） ・優先度、範囲を決め、効率的に修繕するための改修計画の立案 ・メンテナンス費の平準化 ・調査分析の自動化（劣化度合、優先度）
3	8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任 つかう責任  	ごみ、3R（リデュース、 リユース、リサイクル）の推進、 食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別 ・プラスチック削減 ・リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）の推進 ・食品ロス削減
4	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	ゼロカーボンを目指す エネルギー利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの有効利用（省エネ対策の促進、エネルギーの地産地消、エネルギーマネジメント等） ・再生可能エネルギー等の普及（事業者や市民による建築物への再エネや蓄電池等の導入促進）
5	15 陸の豊かさを守ろう 	生物多様性の維持・尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・野生動物の生息域が市街地に変化 ・適正な捕獲計画のための生息数予測
6	6 安全な水とトイレを世界中に 	安心・安全・美味しい水の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の維持管理、整備 ・個人井戸 / 共同井戸の水質維持・改善 ・水質検査の高度化
7	2 飢餓をゼロに 	スマート農業、農業の 経営効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地（農業従事者の減少、高齢化、後継者不足） ・持続性の高い農業生産方式

スタートアップ賞の受賞対象

つくば市のスタートアップの定義(*)に該当し、つくば市スタートアップ登録制度に登録している市内企業または創業や移転により令和3年度内に市内でスタートアップの事業を開始予定の者

*スタートアップの定義：（全てに該当すること）

- ・ユニークなテクノロジーや製品・サービス、ビジネスモデルを持ち、事業成長のための投資を行い、事業成長拡大に取り組んでいる。
- ・これまでの世界を覆し、新たな世界への変革にチャレンジしている。
- ・事業分野がライフサイエンス、ロボット、エネルギー、ナノテクノロジー、物質、材料、情報サービス、環境及び宇宙分野のいずれかに該当する。
- ・設立から10年未満である。

留意事項

- ・国の補助金等を受けている又は受けることが確定している場合は応募できません。
- ・①「課題設定部門」・②「フリー部門」における一次審査では①「課題設定部門」の提案を優先します。
- ・詳しくは「令和3年度つくば Society 5.0 社会実装トライアル支援事業実施要項」をご確認ください。（市ホームページに掲載）